



## 三角形の重心の位置ベクトル

三角形があれば、その重心<sup>1</sup>が存在する。よって、三角形の3頂点の位置ベクトルを用いて、重心の位置ベクトルを表すことができる。

3点  $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の重心を  $G(\vec{g})$  とする。このとき、

$$\vec{g} = \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}}{3} \quad (1)$$

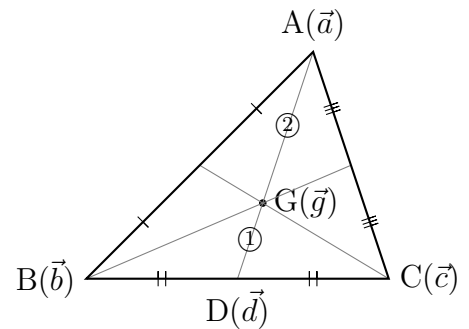
が成り立つ。

証明. 線分  $BC$  の中点を  $D(\vec{d})$  とすると、

$$\vec{d} = \frac{\vec{b} + \vec{c}}{2}$$

が成り立つ。重心  $G(\vec{g})$  は、線分  $AD$  を  $2:1$  に内分する点なので、

$$\vec{g} = \frac{\vec{a} + 2\vec{d}}{3} = \frac{\vec{a} + 2\frac{\vec{b} + \vec{c}}{2}}{3} = \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}}{3}$$



を得る。 □

位置ベクトルを定める基準点を重心  $G(\vec{g})$  にとることで、次の結果が得られる。

$\triangle ABC$  の重心を  $G$  とする。このとき、

$$\overrightarrow{GA} + \overrightarrow{GB} + \overrightarrow{GC} = \vec{0} \quad (2)$$

が成り立つ。逆に、等式 (2) を満たす点  $G$  は、 $\triangle ABC$  の重心である。

証明. 位置ベクトルを定める基準点を重心  $G(\vec{g})$  にとると、

$$\vec{a} = \overrightarrow{GA}, \vec{b} = \overrightarrow{GB}, \vec{c} = \overrightarrow{GC}, \vec{g} = \overrightarrow{GG} = \vec{0}$$

である。これと、等式 (1) と合わせて、等式 (2) が得られる。

逆を示す。点  $G'$  を、

$$\overrightarrow{G'A} + \overrightarrow{G'B} + \overrightarrow{G'C} = \vec{0}$$

を満たす点とする。左辺は、 $\triangle ABC$  の重心を  $G$  を用いて、

$$\overrightarrow{G'A} + \overrightarrow{G'B} + \overrightarrow{G'C} = (\overrightarrow{G'G} + \overrightarrow{GA}) + (\overrightarrow{G'G} + \overrightarrow{GB}) + (\overrightarrow{G'G} + \overrightarrow{GC}) = 3\overrightarrow{G'G}$$

と計算できる。ここで、重心を  $G$  に対しては、等式 (2) が成り立つことを用いた。以上から、

$$\overrightarrow{G'G} = \vec{0}$$

が成り立つので、 $G$  と  $G'$  は同じ点であることが従う。 □

<sup>1</sup>三角形の3本の中線（頂点から対辺の中点へ引いた線）の交点を重心という。重心は、各中線を（頂点から） $2:1$  に内分する点である。